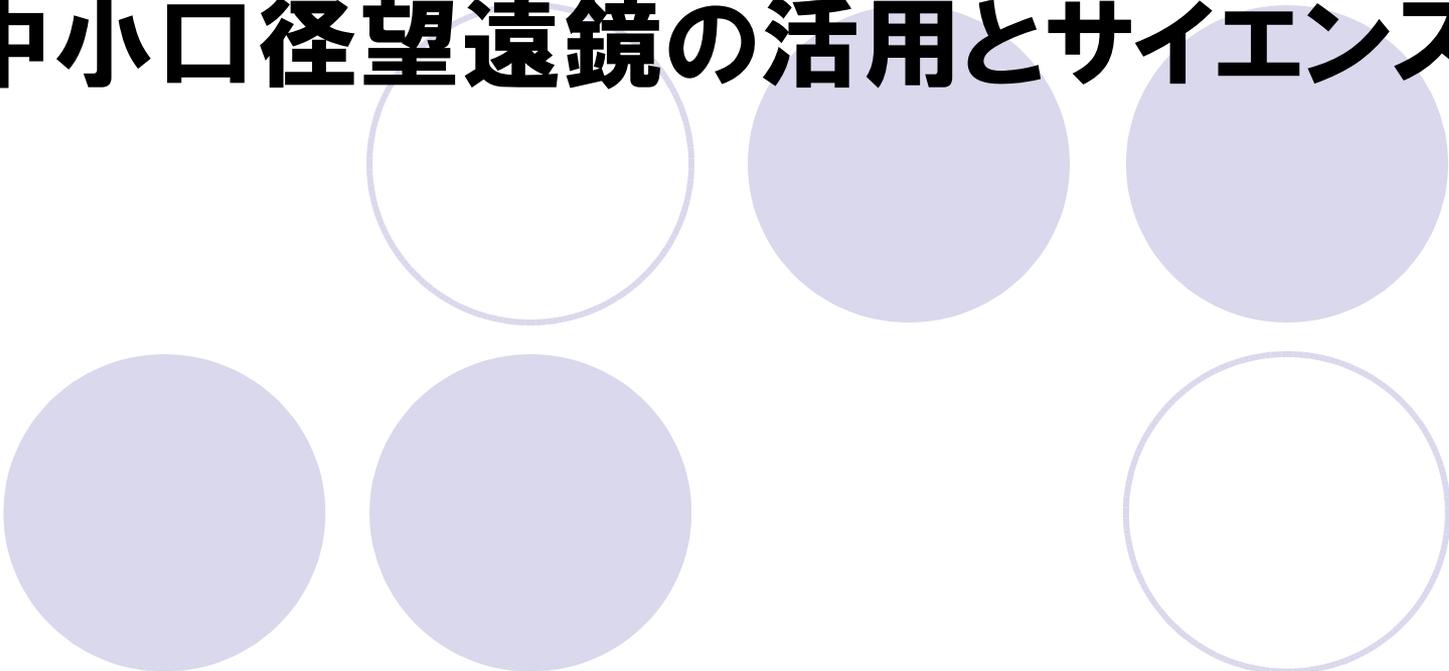


2007 木曾シュミットシンポジウム(上松)

国内望遠鏡との連携

国内中小口径望遠鏡の活用とサイエンス



東大天文センター
木曾観測所
小林 尚人

1. 大望遠鏡の時代に

- cutting-edge なサイエンスは大望遠鏡へ
- 中小口径望遠鏡の”流れ”

専用プロジェクト望遠鏡？（ GRB, transit, ... ）
アウトリーチ？

→ 汎用中小口径望遠鏡は意味がなくなるのか？

2. 欧米のとりくみ

- 中小口径望遠鏡コミュニティでの議論
実は多くのサイエンス・ニーズがある
(ヨーロッパの星研究者、等)
- プロとアマチュアとの連携
New Mexico Skies の例

<http://www.nmskies.com/webpage/index.html>



3. Back to Small Telescope

□ 中小口径サイエンステーマは無尽蔵

口径別の棲み分けが十分可能(むしろ必要)

- ・量子化して中小口径をカットする必要はない(後で後悔する)
- ・今はみんな大口径に目が行って議論がないだけ

□ 萌芽的なテーマ

□ フォローアップ的観測、突発天体観測

□ 真の意味での研究者教育

大望遠鏡は ”データ取得装置”

中小望遠鏡は ”天文学観測装置”

□ 他分野の研究者の参入

□ フレキシビリティの高さ 思いついたらすぐ

→ **これが天文学(サイエンス)の醍醐味では？**

4. 木曽でのとりくみ

□「10-12月期 ショートプログラム」の実施

□ 公募を広く周知

観測時間へのアクセスのよさ

共同利用機関として well-maintained

□ 木曽のサイエンスと可能性を広く研究会等で

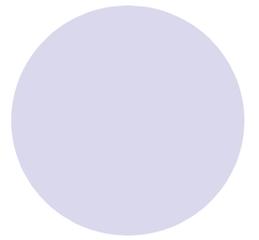
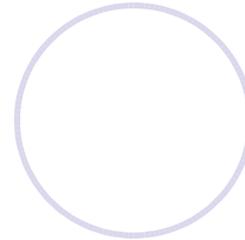
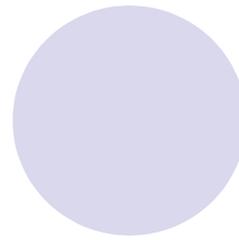
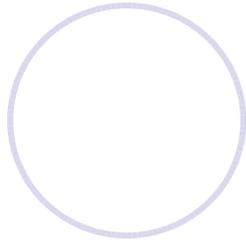
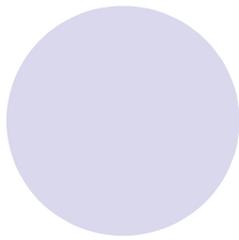
”カンフル剤”をうつより

汎用望遠鏡としての地道な努力を続けたい

5. 国内中小口径望遠鏡との連携

その前に…

- 国内のアクティビティについて
ざくばらんに議論する機会をより多く
木曾シンポ
他の望遠鏡の研究会に呼んでいただければ…
(学会はちょっとせちがらい?)



今回は

- 広島大学 1.5m「かなた望遠鏡」 植村さん
- ぐんま天文台 150cm 望遠鏡 高橋さん
- 岡山観測所 吉田さん
- 美星・スペースガードセンター 浦川さん